

6月議会定例会

# 環境改善センターを利用した事業実施 一般会計補正予算 総額7,474万9,000円を増額

日に契約されているとのことです。予定路線は熊の岱分収林と町有林にかかり、支障木は見積りにより売却しています。

「木の駅プロジェクト」は、去る4月27日に藤里町林業振興協議会設立総会を開催し、5月18日に講師を招聘して講演会を開催して事業の周知に努めています。今後は実務的な面を検討しながら、円滑な事業開始を図っていきます。

### ◇開発公社を指定管理者とする施設経費予算化

藤里開発公社を指定管理者とする施設の経費については、今年度より必要額を当初予算に計上したところですが、指定管理者する対象施設とその管理経費について再度精査をし、対象経費の見直しをしたほか、対象施設として新たに白神山水の館の施設分を追加、既に計上済みの経営交付金については全額を減額し、経営補てんの必要が生じないよう経営努力により対応することとしました。経営による収支不足の発生が見込まれた場合は、組織維持交付金として年度末に計上します。また、これまでの経緯と実績を再度検証し、経営体制を検討していきます。人口減少対策や地方創生への取り組みが必要とされている中、雇用の場をどう確保するかが問わ

れており、今後新たな雇用の場を創出することも総合戦略策定のうえで議論されることと思いますが、従来からある開発公社関係の施設の運営による雇用の拡充強化していくことも今後の重要な施策となります。

### ◇改善センターの有効利用

環境改善センターは、昭和55年、住民の健康増進と地区会館的な役割を目的として設置し、平成18年にはエコ、グリーン・ツーリズム事業の拠点とした宿泊機能を追加し、中通地区活動推進協議会を指定管理者として管理運営をしてきました。施設については、費用対効果の点、有効利用についてなど検討して

きました。総務省の過疎地域等自立活性化推進交付金事業として、町社会福祉協議会による「全ての町民が生涯現役として目指す仕事づくりのシステムをつくる事業」として内示を受け、これを行う施設を環境改善センターとして来年度から本格的に事業実施をすることとしました。今後これらの事業も含め当該施設を利用した事業についての検討を同協議会に依頼しています。

### ◇定住自立支援圏構想

本構想は、人口5万人程度以上で、かつ、昼夜間人口比率が1以上である市が中心市となり

近隣町村と圏域を形成し、連携協力して、大都市圏への人口流出の防止と都市からの定住を促進し、地域活性化等を図ろうとするものです。国では、財政的な支援等を行いながら取り組みを進めており、能代山本を圏域として、関係市町で勉強会を実施するなど事務レベルでの話し合いを進めていきましたが、「まち・ひと・しごと創生法」が施行され総合戦略の中で本構想が重要な施策として位置づけられていることを踏まえ、今後さらに検討を進め年度内の圏域の形成、協定締結にむけて取り組んでいきたいと考えています。

## 主な一般会計補正予算

歳入	(単位：千円)
過疎地域等自立活性化推進交付金	12,000
公共施設再生可能エネルギー等導入事業費補助金	12,280
いのちの教育あったかエリア事業費委託金	1,128

歳出	
三世代交流館敷地LED街路灯設置工事	8,283
過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業補助金	12,005
介護保険システム修正業務委託料	7,740
白神山水の館指定管理料	12,155
振興協会特産品維持助成金	6,851
建設機械車庫屋根等塗装工事	4,350

## \*\*主な議案内容\*\*

- ◎株式会社藤里開発公社の経営状況について
- ◎有限会社白神農園ふじさとの経営状況について
- ◎分収林設置の一部変更について
- ◎県北地区死亡獣蓄保冷施設の建設及び維持管理等に関する事務の委託について